

塩見岳

2015年10月24日(土)快晴 メンバー：佐々木(単独)



アクセス：

R153から松川を経て鳥倉林道駐車場へ

10月24日(土)：

午前2時のスタートを予定していたが、寝坊して1時間遅れでスタートした。登山口を目指してヘッドで林道を歩いていると後続者に電動自転車で抜かれた。少し羨ましかったり、ちょっぴり悔しかったので、早足に林道を歩き、三伏峠への登山道の途中で追い越した。

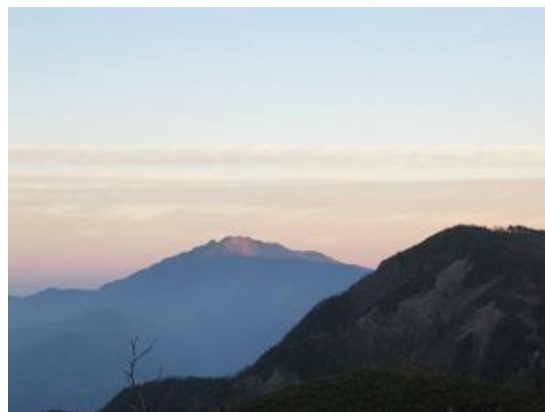
大人気ない無駄な体力消費を反省しつつ三伏峠までの後半を進む。霜の付いた木製の足場や梯子は足が滑りやすい。所々に霜柱が立っていた。

前半の無駄なしゃかりきで身体が暖まり、あまり寒さは感じず三伏小屋に到着した。誰もいない冬期小屋で朝食休憩とする。厚めのゴザが敷きつめられた快適な小屋で暖かく過ごす。

休憩中に夜が明けた。三伏山へは三伏小屋から10分程度で到着する。山頂では夜明けの景色を楽しむことができた。



小河内岳、荒川三山方向



仙丈

三伏山からは一度コルに下って、本谷山へ登り返すこととなる。緩やかな歩きやすい樹林帯のトレールだ。本谷山から少し下ると気持ちのいい林がある。冬には快適なテン場になりそうだと思う。さらに進むと塩見新道への分岐点に至るが、塩見新道方面はトラロープで閉鎖されている。

分岐からは甲斐駒ヶ岳や仙丈を眺めながら天狗岩を目指して進む。20～30分で塩見小屋に着く。小屋は改修中だが、留守番の人が常駐しているようだった。立ち入り禁止の表示があったので、内部は詳しく見ていない。



改修中の塩見小屋



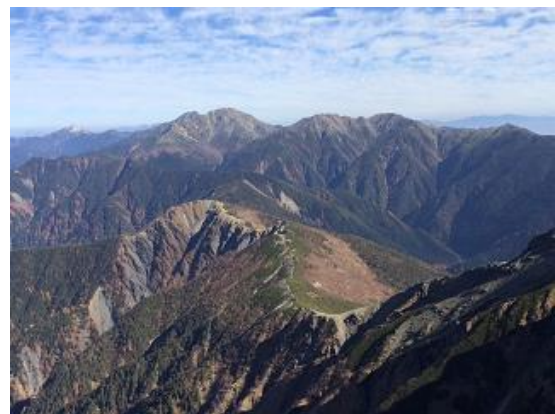
フチ岩稜歩き

塩見小屋からは少しばかり岩稜歩きとなる。前後に登山者がいなかったため気兼ねなく歩いたが、足場が少し脆いので落石には十分な注意が必要だと感じた。樹林帯を抜けた稜線では冷たい風が強く吹きつけてきた。フリースの手袋をウールの手袋に代えてジャケットのフードを立てて寒さを凌ぎながら頂上を目指す。

頂上標識が見えたと思ったら、同時に富士山がドオーンと飛び込んできた。



富士山がお出迎え



仙塩尾根

相変わらず冷たい風が吹いていたが、頂上を去りがたく絶景を30分ばかり独り占めした。

このまま仙塩尾根に進みたい！との誘惑を振り切って下山を開始。

下山の途中で数パーティーとすれ違ったが、三伏小屋は閑散としたものでテントが一張り。小屋の中もデポの荷物が一つ。泊まってゆきたいとこ

ろだが、翌日の午前中に仕事があったので後ろ髪を引かれつつ下山継続。

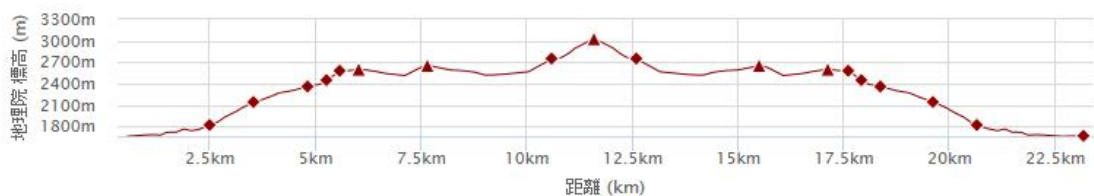
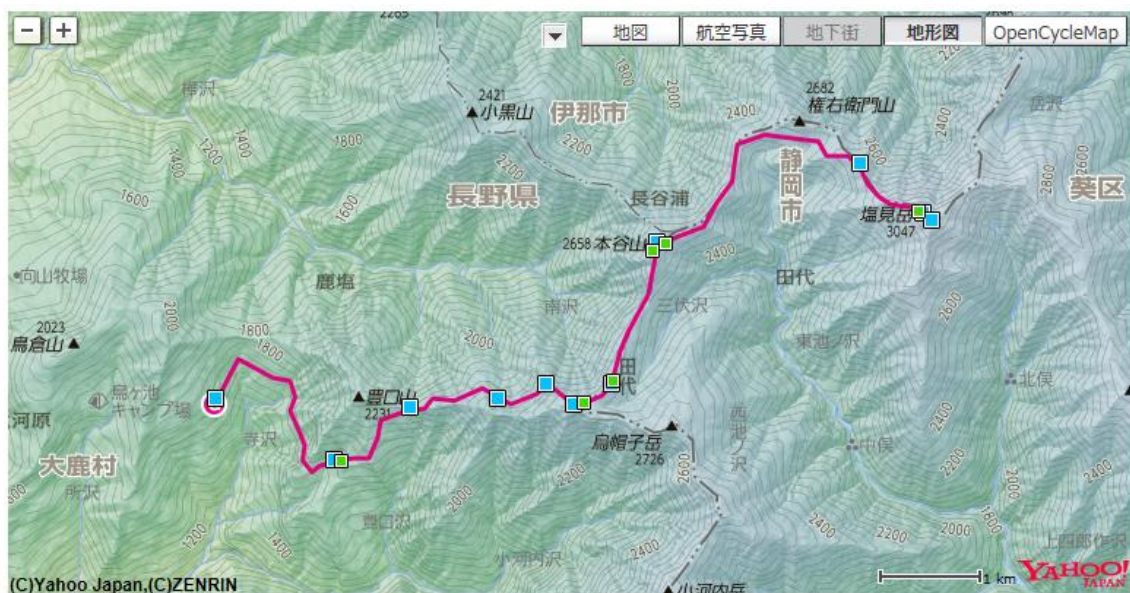
行きは暗くて見えなかったが、駐車場までの林道は紅葉の盛りだった。退屈な林道歩きを覚悟していたが、黄色や赤に染まった木々のおかげで駐車場までの道のりが短く感じられた。

予定よりも早く下山できたので、少し遠回りになるが「信州たかもり温泉湯ヶ洞」に立ち寄り汗を流して家路についた。

所見

初めての塩見岳、好天に恵まれて気持ちよく歩くことができました。次回、雪のある時期に訪れてみたいものです。

行動概要



山行 9 時間 42 分 休憩 2 時間 38 分 合計 12 時間 20 分

鳥倉林道ゲート(駐車場) 03:00 03:30 鳥倉林道登山口 05:25 三伏峠小屋 06:00 06:07 三伏山
06:10 06:40 本谷山 06:50 08:30 塩見小屋 08:45 09:30 塩見岳 09:35 09:40 塩見岳東峰 09:45
09:50 塩見岳 09:55 10:40 塩見小屋 10:55 11:55 本谷山 12:10 12:50 三伏山 13:00 13:10 三伏峠
小屋 13:25 14:50 鳥倉林道登山口 15:20 鳥倉林道ゲート

(佐々木 記)